

○木材利用促進に向けた木材生産事業地等の見学会を実施

9月4日（土）、木材の利用促進を図ることを目的に、「森林と木を知るツアー」と題し、地域住民の方々に素材生産現場・製材工場・木造住宅の見学会実施しました。この見学会では、森林が伐採され製品として利用されるまでの過程を理解していただきました。

見学会当日は、公募による参加者9名が当署前に集合し、最初の目的地である素材生産請負現場に向かい、有限会社下久保林業の方々により、まず初めに高性能林業機械が導入される以前の生産方法であるチェーンソーでの伐倒作業から造材作業までの一連の作業を見学し、次に高性能林業機械であるハーベスタによる伐倒から枝払い、造材作業を見学しました。参加者の皆さんは、初めて見る伐倒の迫力や高性能林業機械の早さと正確な動きに感心していました。

次に、日本一のブナの巨木を見学しました。当日は暑い日でしたが林内は涼しい風が通り抜け参加者は予定時間を忘れくるらい癒されて午前の予定は終了しました。

午後からは、上北森林組合・木材加工センターを見学し、初めて見るコンピュータ化された最新の製材機械とシステム化された作業仕組みに感心している様子でした。

最後に青森県産材使用長寿命化住宅「いわ木の家」モデルハウスを見学しツアーを終了しました。

また、昼食の最中に参加者の方から「新聞でみたのですが、この近くにわき水あるみたいですが」との質問があり、休憩を早めに切り上げて見学のコースを1つ追加するハプニングがありました。今回のツアーも参加者や各見学先の方々のご協力により予定時間内に終了できました。



高性能林業機械を間近に見学



日本一のブナ
巨木を見学



モデルハウス内を見学



製材工場見学時の記念撮影